

# Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/06/08

## Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.42	0.02
JPY/THB	0.2596	-0.0013
USD/JPY	132.59	0.71
EUR/THB	36.81	0.01
EUR/USD	1.0703	0.0007
USD/CNH	6.672	0.015
SGD/THB	25.06	0.07
AUD/THB	24.89	0.14
USD/INR	77.71	0.08
USD Index	102.32	-0.12

## Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.516	0.085
10Y (THB)	3.001	0.012
5Y (USD)	2.985	-0.048
10Y (USD)	2.974	-0.066

## Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,847.5	8.3
WTI (Oil)	119.41	0.91
Copper	9,699.0	-46.0

## Stock

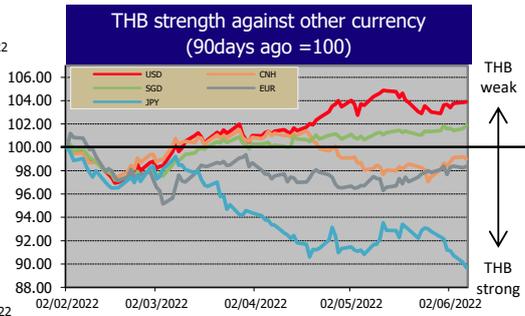
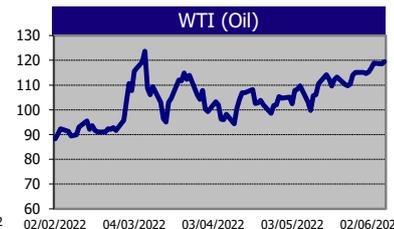
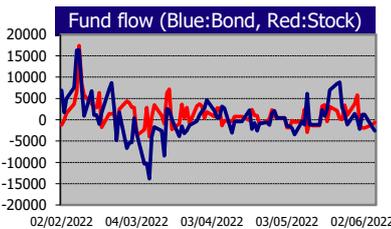
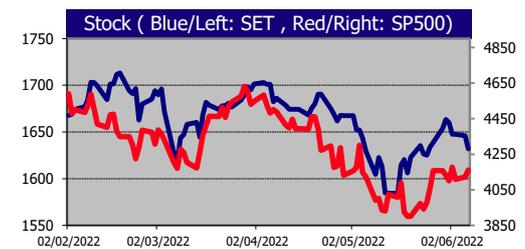
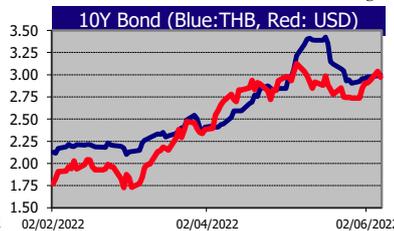
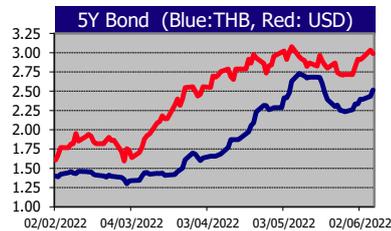
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,631.92	-14.16
NIKKEI (JP)	27,943.95	28.06
DOW (US)	33,180.14	264.36
S&P500 (US)	4,160.68	39.25
SHCOMP (CN)	3,241.76	5.39
DAX(GER)	14,556.62	-97.19

## Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(606)	584.4
Bond net flow	(2,602)	-884.0

\*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



## Yesterday's market summary

### ●ドルパーツ

昨日のドルパーツは34半ばで取引を開始。豪中銀が予想を上回る50bpの利上げに踏み切り、5月以降アジア各国でインフレ抑制のための利上げが行われる中、景気回復動向を注視しようとしてかパーツ売りがやや優勢となった。海外時間、材料に乏しい状況だったが、米小売大手の業績見直し下方修正を理由にして米債が買われると、ドルパーツは朝方と同レベル程度まで下落して終えた。

### ●ドル円その他

昨日のドル円は132円前半で取引を開始。日銀黒田総裁のハト派発言や日米金利差拡大、クロス円の円売り圧力の高まりにより、2002年4月以来の133円ちょうど近辺まで円安が進んだが、同水準では上値を抑えられてアジア時間終盤は132円後半で推移。海外時間、特段目新しい材料はなかったが、米長期金利の下落に歩調を合わせて132円半ばまで上げ幅を縮めて引けた。

## Bangkok Dealer's Eye

今週、来週と中銀ウィークとなっています。昨日は豪州のRBAが予想外の50bpの利上げを実施、そのうえで追加の引き締めを示唆しました。米国では今週金曜日のCPIが一番の注目点、そして、それを受けてFOMCが来週に控えています。よって、CPIのデータがFOMCメンバーの利上げ見通し(ドット)に影響を与えるものと考えられます。また、インフレ対応が最優先事項としてバイデン大統領からもコメントが出ており中間選挙を考えると7月、9月も50bpの利上げが必要との見方が大宗を占めています。ECBは明日のの会合でQEの終了を発表し7月からの利上げ開始を示すというのがメインシナリオとなっています。そしてタイでも本日タイ中銀のMPCを控えています。タイ中銀は緩和を維持するトーンを変えてはいないものの、先日発表された強いCPIを受けてOIS市場では2022年に複数回の利上げを織り込む状況下でのような判断を示すかに注目が集まります。今年はMPCの回数が8回から6回に削減され次回は8月となるだけに夏相場の方向性を決める重要な会合となるかと思えます。(塩谷)